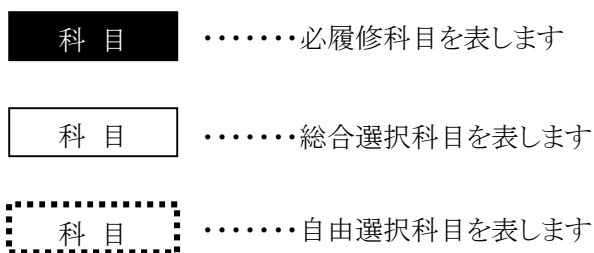
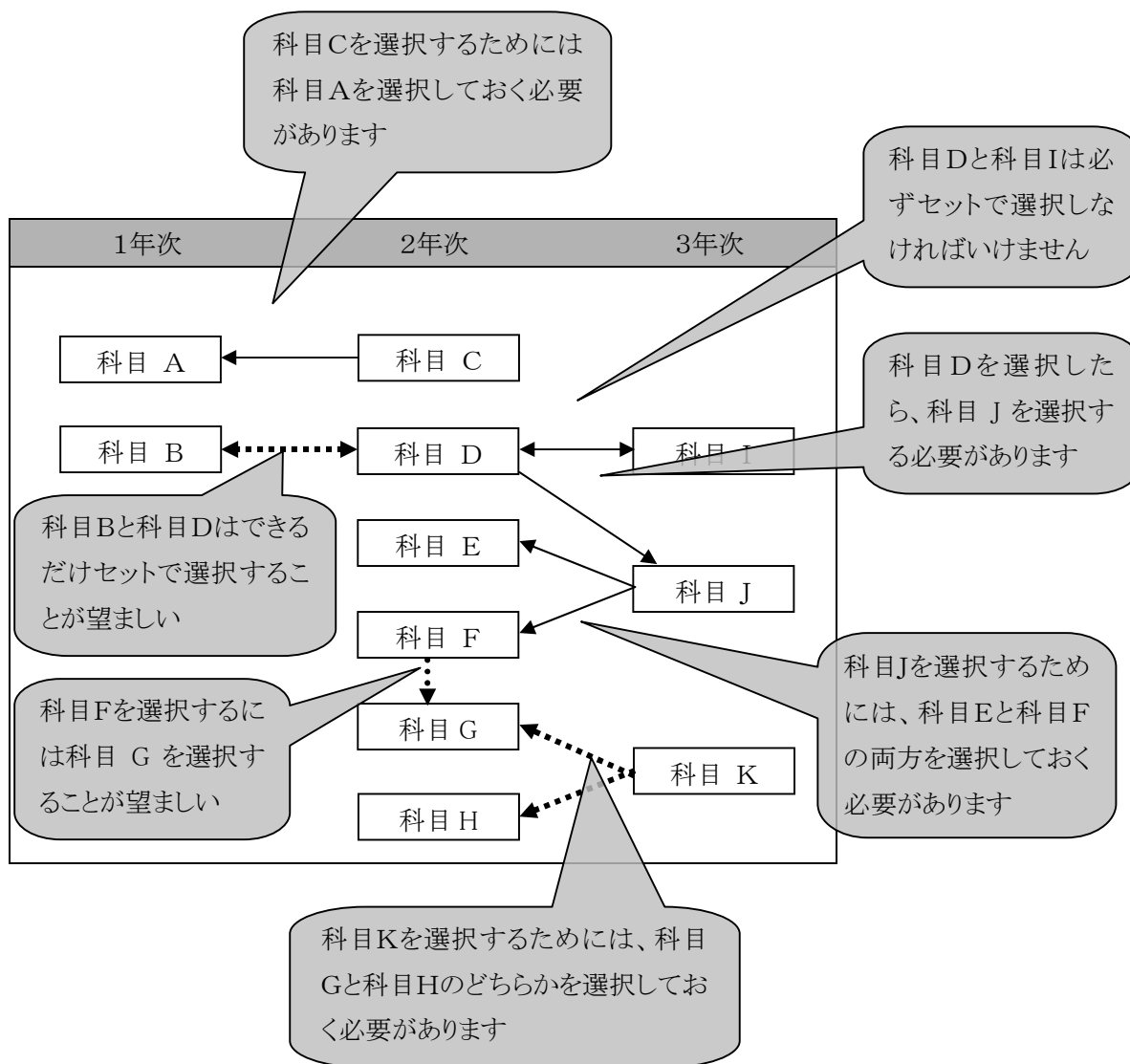


3. 科目シラバス

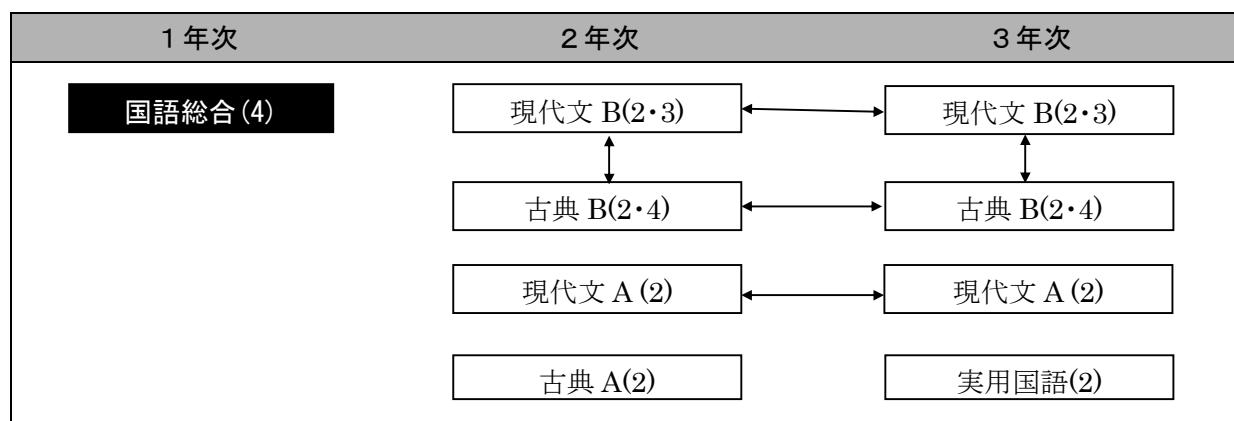
科目関連図の見方



科目関連図の中には関連の種類によって、数種類の矢印が使われています。間違った選択をしないためにも、矢印の意味を理解する必要があります。



国語



履修年次	1年	科目名	国語総合	単位数	4	科目の種類	必履修
履修対象	1年生全員						
学習内容	目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てます。					
	内容	<p>中学校での国語学習を発展させた内容で、古典(古文・漢文)と近代以降の文章を同程度の時間をかけて学びます。「伝え合う力」を高めるために、話すこと・聞くことの学習にも力を入れます。</p> <p>(1) 近代以降の文章では、随筆・評論・小説・詩・短歌など幅広い種類の学習をとおして、読む力や書く力をつけるとともに、人間や社会、自然などに広く目を向けて考えを深めます。</p> <p>(2) 古文では、歴史的仮名遣いや品詞、用言の活用について学習します。次に、親しみやすい物語や「随筆」を題材に、日本の文化や伝統についての関心や理解を深めます。</p> <p>(3) 漢文では、入門教材として故事成語を扱い、漢文の構造や書き下し文のきまりを学習します。次に、漢詩や史伝を学習し、音読や朗読に力を入れて漢文に親しんでいきます。</p>					
備考	読書を奨励します。全校漢字テスト、漢字能力検定への挑戦をすすめます。						

履修年次	2・3年	科目名	現代文 B	単位数	2~3・2~3	科目の種類	総合選択
履修対象	文理系列の生徒(2・3年次とも文系は3単位、理系は2単位)						
学習内容	目標	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てます。					
	内容	<p>(1) 三年次の入試にも十分対応できるように、さまざまなジャンルの論理的な文章や、文学的文章に加え、社会生活で必要となる報告文などの実用的な文章を読むことによって、ものの見方、感じ方、考え方を深め、表現できるように学習します。</p> <p>(2) 読むことに偏らないように、話すこと、聞くこと、書くことの言語活動にも力を入れます。</p>					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二年次「古典 B」、三年次「古典 B」と併せて選択すること。 ・ 読書の奨励。全校漢字テスト、漢字能力検定への挑戦をすすめます。 						

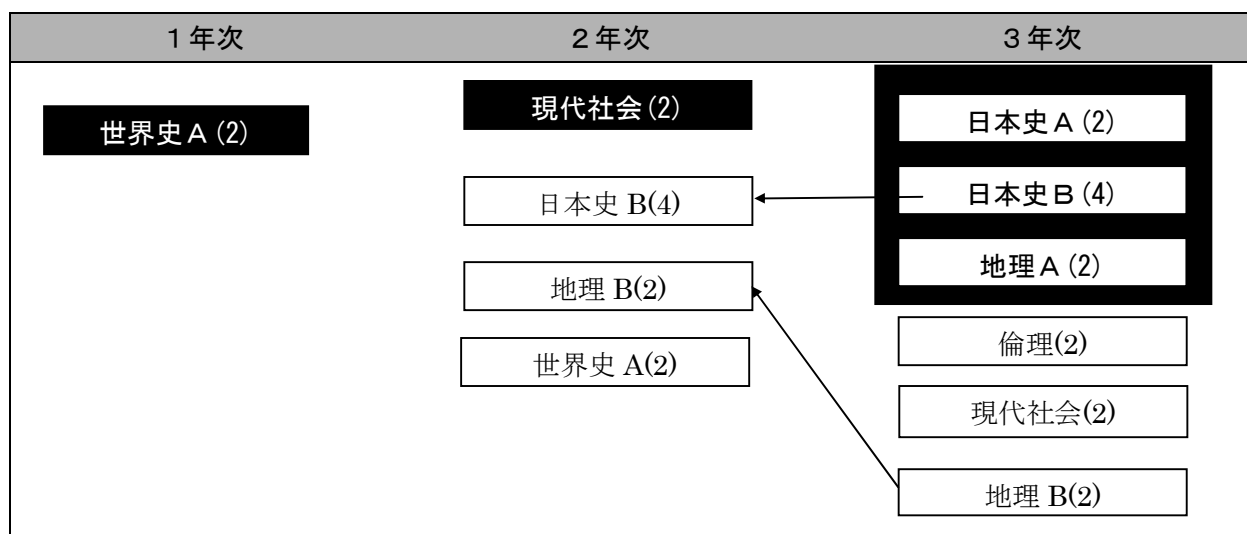
履修年次	2・3年	科目名	現代文 A	単位数	2・2	科目の種類	総合選択
履修対象	農業科学系列・土木系列・ビジネス会計系列・教養文化系列の生徒						
学 習 内 容	目 標	現代文 B の目標に同じ					
		(1) 就職、公務員試験も考慮に入れ、様々な文章に触れながら、国語の基礎(漢字、語彙などの国語常識全般)を始め、文章を読むことによって、ものの見方、感じ方、考え方を深め、表現できるように学習します。 (2) 読むことに偏らないように、話すこと、聞くこと、書くことの言語活動にも力を入れます。					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教養文化系列の生徒は「古典 A」「実用国語」も選択すること。 ・ 読書の奨励。全校漢字テスト、漢字能力検定への挑戦をすすめます。 						

履修年次	2・3年	科目名	古典 B	単位数	2~4・2~4	科目の種類	総合選択
履修対象	文理系列の生徒(2・3年次とも文系は4単位、理系は2単位)						
学 習 内 容	目 標	古典(古文、漢文)を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てます。					
		(1) 古文、漢文とも、高校生必読の著名な作品を読解、鑑賞できるように、ジャンルごと、時代ごとに学習し、入試対応ができるように詳細な読み取りにも力を入れます。 (2) 古文や漢文に用いられている語句の意味、用法を理解し、その特有の表現を学びます。 (3) 一年次の学習に続き、文語文法を学習します。 (4) 漢文は一年次の返り点、送り仮名、書き下し文、返読・再読文字の学習に続き、多くの漢文句法を学習します。					
備考	古語辞典の準備が必要。						

履修年次	2年	科目名	古典 A	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	教養文化系列の生徒						
学 習 内 容	目 標	古典(古文、漢文)およびこれに関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てます。					
		(1) 作品に表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考えます。 (2) 作品を通して言語文化の特質や、日本と中国の文化の関係について学びます。 (3) 日常の言語生活の中にある我が国の伝統と文化に関連する表現を学びます。					
備考							

履修年次	3年	科目名	実用国語	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	教養文化系列の生徒、文理系列で看護・医療系の進学を希望する生徒						
学習内容	目標	自分の考えを適切に表現し伝えるための、目的や場に応じた表現力と、社会生活において必要な表現活動に慣れ、生活を充実させる態度を育てます。					
		(1) わかりやすい文章の書き方や推敲について学びます。 (2) さまざまな文章を読んで、テーマや内容の把握について学びます。 (3) 課題文やグラフの読み取りなど入試のための作文、小論文について学びます。					
備考							

地理歴史・公民



履修年次	1年	科目名	世界史 A	単位数	2	科目の種類		必履修	
履修対象	1年生全員								
学習内容	目標	近現代史を中心とする世界の歴史について、わが国の歴史と関連づけながら学習し、世界の構造や成り立ちを歴史的な視野から考える力を身につける。							
	学習内容	(1) 諸地域世界の成立と発展 (2) ユーラシアの交流圏 (3) 一体化に向かう世界 (16～18世紀) (4) 19世紀の世界の形成と展開 (5) 現代の世界と日本							
備考									

履修年次	2年	科目名	現代社会	単位数	2	科目の種類		必履修	
履修対象	2年生全員								
学習内容	目標	現代社会の基本的な問題について主体的に考え、自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。							
	学習内容	第2章 現代の民主政治と政治参加の意義 民主政治の基本原理・国民の政治参加と地方自治 第3章 個人の尊重と法の支配 個人の尊重と法・民主社会と倫理 第4章 現代の経済社会と経済活動のありかた 現代の経済社会・経済活動のありかた							
備考									

履修年次	2年	科目名	日本史B	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	文理系列の文系の生徒						
学習内容	目標	主題学習、地域学習を通して歴史の関心を高め、歴史的な見方や考え方を身につける。それを踏まえ原始社会から江戸時代後期に至る日本の前近代の歴史の展開を国際関係の動向と関連づけて理解する。					
		(1) 歴史の考察 歴史資料の利用、歴史の追究(主題学習)、地域社会の歴史と文化を通して歴史の見方や考え方を身につける。 (2) 原始・古代の社会・文化と東アジア 原始社会の人々の生活、大和朝廷による統一、律令国家の形成と推移について理解する。 (3) 中世の社会・文化と東アジア 武家政権の成立、戦国時代に至るまでの武家社会の進展について理解する。 (4) 近世の社会・文化と国際関係 織豊政権と幕藩体制の特色と推移について理解する。					
備考	3年次も継続して選択すること。						

履修年次	2年	科目名	地理B	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	地理に興味・関心があり、広く社会事象を学習しようとする生徒、及び公務員希望者						
学習内容	目標	現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培う。					
		現代世界の特色と地理的技能 現代世界の地域性や動向を、観察や調査、地球儀・地図・統計・画像・文献などの活用を通してとらえる。					
備考	3年次も継続して「地理B」を選択し、他に「日本史A」または「日本史B」を選択すること。						

履修年次	2年	科目名	世界史A	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	教養文化系列の生徒および文理系列の公務員希望者。						
学習内容	目標	近現代史を中心とする世界の歴史について、わが国の歴史と関連づけながら学習し、世界の構造や成り立ちを歴史的な視野から考える力を身につける。					
		一体化する世界 産業革命・19世紀の欧米世界・アジア諸国とヨーロッパの進出・帝国主義と世界の変容 現代の世界と日本 急変する人類社会・第一次大戦・ファシズム・第二次大戦・米ソ冷戦・現代の課題					
備考	教科書は1年次のものを継続して使用する。						

履修年次	3年	科目名	日本史A	単位数	2	科目の種類	必履修選択
履修対象	日本史 B を選択しない者は、日本史 A、地理 A のどちらか 1 科目を必ず選択すること。						
学習内容	目標	近現代史を中心とするわが国の歴史を、国際環境などと関連づけて考察する。					
	(1) 歴史と考察	身近な生活文化や地域社会の変化などにかかわる主題を設定し、それを作業的・体験的学習を通して主体的に解決する。					
	(2) 近代日本の形成と19世紀の世界	開国以後、明治維新を経て近代日本が急速に形成された過程を学習する。					
	(3) 近代日本の歩みと国際関係	第一次世界大戦から第二次世界大戦終結までの日本の状況を学習する。					
	(4) 第二次世界大戦後の日本と世界	日本の民主化と復興、国際社会への復帰、経済の発展と現代の日本について学習する。					
備考							

履修年次	3年	科目名	日本史B	単位数	4	科目の種類	必履修選択
履修対象	二年次に日本史Bを選択した者						
学習内容	目標	開国から現在に至る日本の近現代の歴史の展開を世界の動向と関連づけて考察する。あわせて世界での日本の立場やわが国の国際貢献の拡大に着目し、日本の課題や役割を考察する。					
	(1) 近代日本の形成と東アジア	開国と幕府の滅亡、明治維新と立憲体制の成立、近代産業の発展と近代文化の特色について考察する。					
	(2) 2つの世界大戦期の日本と世界	第一次世界大戦と日本の経済、政党政治の発展と大衆文化の形成、第二次世界大戦と日本について考察する。					
	(3) 戦後の日本と世界	戦後経済の動向、経済の発展と国民生活、現代の日本と世界について考察するとともに、広い視野に立って日本の文化や課題について認識する。					
備考	近代以降の社会・経済・文化史などについても触れ、あわせて演習指導も行う。						

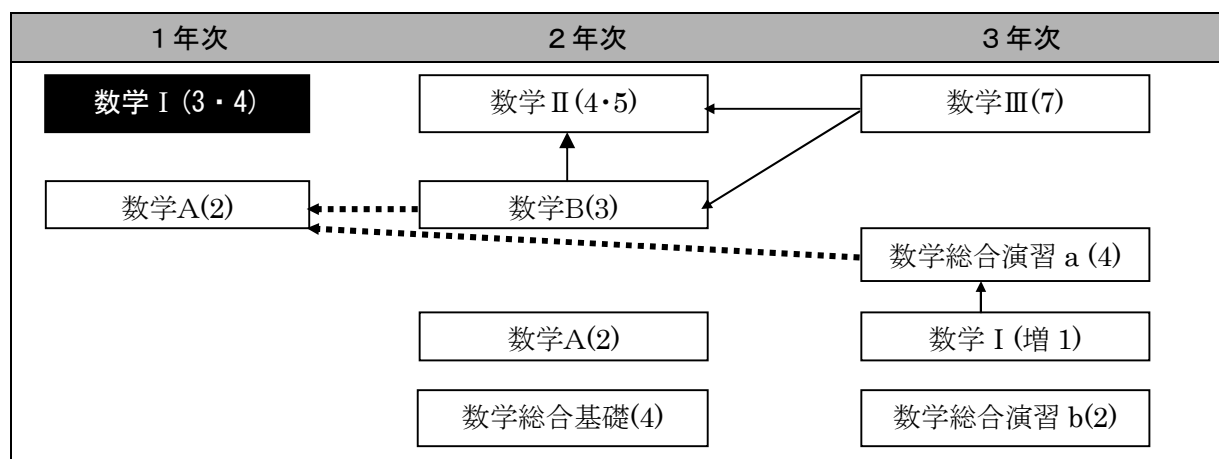
履修年次	3年	科目名	地理A	単位数	2	科目の種類	必履修選択
履修対象	日本史Bを選択しない者は、日本史A、地理Aのどちらか1科目を必ず選択すること。						
学習内容	目標	現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培う。					
	内容	(1) 現代世界の特色と地理的技能 現代世界の地域性や動向を、観察や調査、地球儀・地図・統計・画像・文献などの活用を通してとらえる。 (2) 地域性を踏まえてとらえる現代世界の課題 世界諸地域の生活・文化に触れ異文化理解を深めるとともに、環境・資源・エネルギー・人口・食糧などの地球的課題について学習する。					
備考	地理Bとの同時履修はできません。						

履修年次	3年	科目名	地理B	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	2年次に地理Bを選択した者						
学習内容	目標	現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培う。					
	内容	地域性を踏まえてとらえる現代世界の課題 世界諸地域の生活・文化に触れ異文化理解を深めるとともに、環境・資源・エネルギー・人口・食糧などの地球的課題について学習する。					
備考	地理Aの同時履修はできません。						

履修年次	3年	科目名	現代社会	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	文理系列の文系の生徒は必ず選択すること。						
学習内容	目標	現代社会の基本的な問題について主体的に考え、自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。					
	内容	第1章 青年期と自己の形成 青年と自己実現 第4章 国際社会の動向と日本の果たすべき役割 国際社会の動向・国際社会と日本 2年間の復習 公務員対策、大学入試センター試験対策の問題演習					
備考	<ul style="list-style-type: none"> 教科書は2年次のものを継続して使用します。 公務員試験や大学入試センター試験に対応するレベルの内容を扱います。 						

履修年次	3年	科目名	倫理	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	教養文化系列の生徒						
学習内容	目標	人類の長い歴史のなかで生み出されてきたすぐれた思想を手がかりに、しっかりとした人生観、世界観を身につける。					
		(1) 青年期の課題と人間としての在り方生き方 ① 青年期の意義と課題を理解する。 ② 先哲の基本的な考え方を学習する。 (2) 現代と倫理 ① 今日に生きる人間の課題について学習する。 ② 人間の尊厳と生命への畏敬について学習する。 ③ 生命、環境、人類の福祉などの倫理的課題を学習する。					
備考	就職試験等を考慮し、必要に応じて2年次の現代社会の復習、一般常識対策も行います。						

数学



履修年次	1年	科目名	数学 I	単位数	3・4	科目の種類	必履修
履修対象	1年生全員						
学習内容	目標	基本的な式の計算や論理的な考え方、関数の性質、図形の処理、データの取り扱い方など広い範囲について理解を深め、高校で学習する数学の基礎を学びます。					
	学習内容	(1) 数と式・集合と論証 因数分解、平方根の計算、1次不等式、命題や条件などについて学びます。 (2) 2次関数 2次関数のグラフや2次不等式の解法について学びます。 (3) 図形と計量 三角比(サイン、コサイン、タンジェント)の考え方とそれを応用した図形の計量について学びます。 (4) データの分析 データを整理・分析し、その傾向の把握する方法などを学びます。					
備考	<ul style="list-style-type: none"> 文理系列の生徒は4単位, それ以外の生徒は3単位をそれぞれ選択すること。 問題集の費用(約1,000円)を学年費として集金します。 						

履修年次	1年	科目名	数学 A	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	文理系列の生徒						
学習内容	目標	「順列」「組合せ」の考え方を学び、確率の計算ができるようにします。また、「整数の性質」や「図形の性質」を学ぶことにより、数学的な考え方を学びます。					
	(1) 場合の数	いろいろな条件を満たす場合が何通りあるかを考える「順列」「組合せ」について学びます。					
学習内容	(2) 確率	確率の意味や基本性質を学び、様々な確率の計算ができるようにします。					
	(3) 整数の性質	約数と倍数、ユークリッドの互除法、2進法などを学びます。					
学習内容	(4) 図形の性質	三角形の重心・外心・内心や円と接線の性質などを学びます。					
	備考						

履修年次	2年	科目名	数学A	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	農業科学系列およびビジネス会計系列の生徒						
学習内容	目標	「順列」「組合せ」の考え方を学び、確率の計算ができるようにします。また、「整数の性質」や「図形の性質」を学ぶことにより、数学的な考え方を学びます。					
	(1) 場合の数	いろいろな条件を満たす場合が何通りあるかを考える「順列」「組合せ」について学びます。					
学習内容	(2) 確率	確率の意味や基本性質を学び、様々な確率の計算ができるようにします。					
	(3) 整数の性質	約数と倍数、ユークリッドの互除法、2進法などを学びます。					
学習内容	(4) 図形の性質	三角形の重心・外心・内心や円と接線の性質などを学びます。					
	備考						

履修年次	2年	科目名	数学B	単位数	3	科目の種類	総合選択
履修対象	文理系列の理系の生徒						
学習内容	目標	ある規則に従って並んだ数の列や、大きさと向きを同時にもつベクトルについて学び、数学的な事象への考察力を高めます。					
	(1) 数列	等差数列や等比数列とよばれる数列を通して一般項や数列の和について学びます。また、その他のいろいろな数列についても和の計算などを身につけます。					
	(2) ベクトル	ベクトルの和や差、成分表示などを学び、内積や位置ベクトルを用いて平面図形の性質を調べます。また、空間座標についてもベクトルを用いて理解を深めます。					
備考	・ 問題集約1,000円						

履修年次	2年	科目名	数学総合基礎	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	教養文化系列の生徒						
学習内容	目標	数学Aと数学 I の基本事項の確認と問題演習をします。その後、数学 II を学習します。					
	(1) 場合の数	いろいろな条件を満たす場合が何通りあるかを考える「順列」「組合せ」について学びます。					
	(2) 確率	確率の意味や基本性質を学び、様々な確率の計算ができるようにします。					
	(3) 整数の性質	約数と倍数、ユークリッドの互除法、2進法などを学びます。					
	(4) 図形の性質	三角形の重心・外心・内心や円と接線の性質などを学びます。					
	(5) 図形と計量	三角比(サイン、コサイン、タンジェント)の考え方とそれを応用した図形の計量について学びます。					
	(6) データの分析	データを整理・分析し、その傾向の把握する方法などを学びます。					
	(7) 方程式・式と証明	整式の除法や恒等式について学びます。					
備考	・ 問題集約1,000円						

履修年次	2年	科目名	数学Ⅱ	単位数	4・5	科目の種類	総合選択
履修対象	文理系列の生徒および土木系列の生徒						
学 習 内 容	目 標	整式の展開や除法、高次方程式について学びます。また、三角関数や指数・対数関数の基本的な知識の習得と、微分法・積分法の基本的な技術の習熟を図ることで、事象を数学的に考察し処理する能力を身につけます。					
		(1) いろいろな式 二項定理、整式の除法、複素数、因数定理、不等式の証明などについて学びます。 (2) 図形と方程式 平面上の点や直線・円を方程式で表し、処理する方法を学びます。 (3) 三角関数 サイン、コサイン、タンジェントで表された関数のグラフや様々な公式について学びます。 (4) 指数・対数 指数を拡張し、指数関数について学びます。また、対数についても学びます。 (5) 微分・積分 関数の微分係数(変化率)の求め方から、微分法について学び、それを応用して3次関数のグラフを扱います。また、積分法を学び、曲線で囲まれた図形の面積の求め方を学びます。					
備考	・ 文理系列の生徒は5単位，土木系列の生徒は4単位をそれぞれ選択すること。 ・ 問題集代約1,000円						

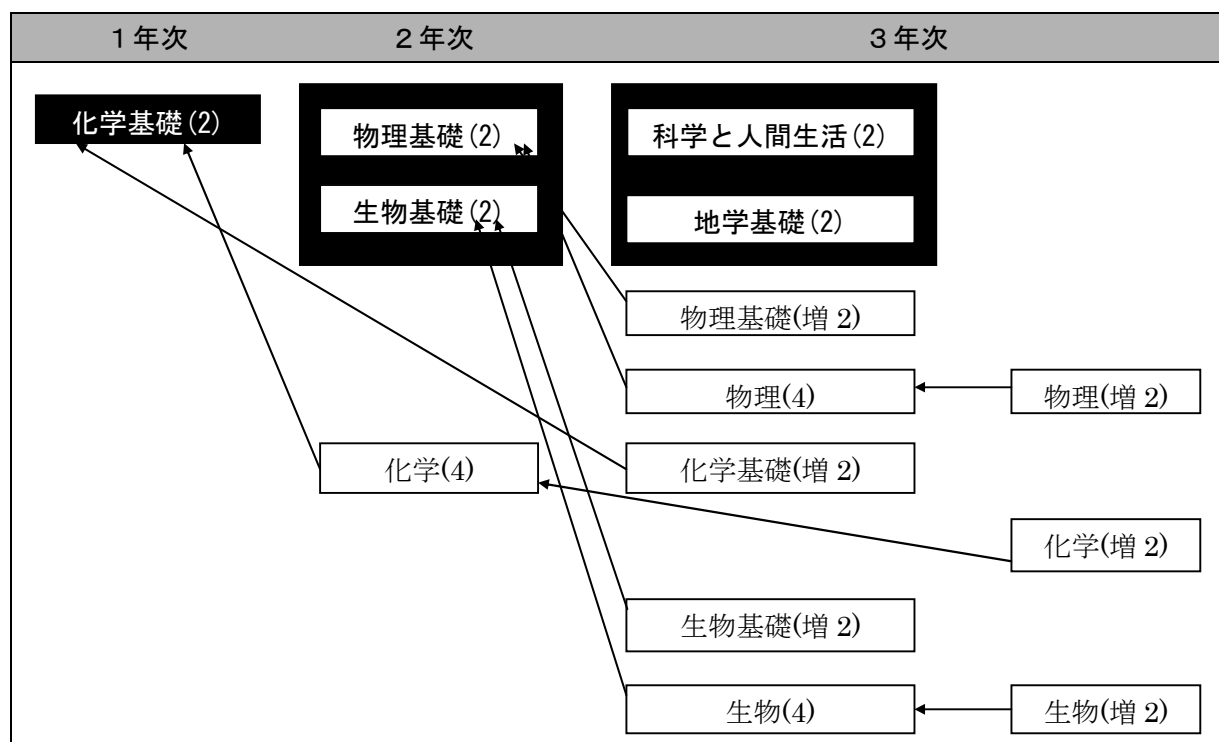
履修年次	3年	科目名	数学Ⅰ(増1)	単位数	1	科目の種類	総合選択
履修対象	文理系列の理系で、数学Ⅲを選択しない生徒						
学 習 内 容	目 標	数学Ⅰの問題演習を通して、大学入試センター試験や個別学力試験に対応できる力を身につけます。					
		(1) 数と式 (2) 2次関数 (3) 図形と計量					
備考							

履修年次	3年	科目名	数学総合演習(a)	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	文理系列で、数学Ⅲを選択しない生徒						
学 習 内 容	目 標	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの基本事項の確認と問題演習を通して、大学入試センター試験や個別学力試験に対応できる力を身につけます。					
		(1) 数と式・集合と論証 (2) 2次関数 (3) 図形と計量 (4) データの分析 (5) 場合の数 (6) 確率 (7) 図形の性質 (8) いろいろな式 (9) 図形と方程式 (10) 三角関数 (11) 指数・対数 (12) 微分・積分					
備考	・ 数学Ⅱ，数学Aを履修していることが望ましい。 ・ 問題集約1,000円						

履修年次	3年	科目名	数学総合演習(b)	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	農業科学系列、土木系列、ビジネス会計系列、教養文化系列の生徒						
学 習 内 容	目 標	整式の展開や除法、高次方程式について学びます。また、三角関数や指数・対数関数の基本的な知識の習得と、微分法・積分法の基本的な技術の習熟を図ることで、事象を数学的に考察し処理する能力を身につけます。					
		<p>(1) いろいろな式 二項定理、整式の除法、複素数、因数定理、不等式の証明などについて学びます。</p> <p>(2) 図形と方程式 平面上の点や直線・円を方程式で表し、処理する方法を学びます。</p> <p>(3) 三角関数 サイン、コサイン、タンジェントで表された関数のグラフや様々な公式について学びます。</p> <p>(4) 指数・対数 指数を拡張し、指数関数について学びます。また、対数についても学びます。</p> <p>(5) 微分・積分 関数の微分係数(変化率)の求め方から、微分法について学び、それを応用して3次関数のグラフを扱います。また、積分法を学び、曲線で囲まれた図形の面積の求め方を学びます。</p>					
備考	・ 問題集約1,000円						

履修年次	3年	科目名	数学Ⅲ	単位数	7	科目の種類	総合選択
履修対象	文理系列で、理工系4年制大学への進学を希望する生徒						
学 習 内 容	目 標	数学Ⅱで学んだ微分法・積分法を三角関数や指数・対数関数にまで広げ、様々な関数のグラフを調べたり、様々な曲線によって囲まれた図形の面積や立体の体積を求められるようにします。また、問題演習より理系大学の個別学力試験に対応できるようにします。					
		<p>(1) 平面上の曲線と複素数平面 平面上のいろいろな曲線、媒介変数表示、複素数平面について学びます。</p> <p>(2) 関数と極限 分数関数や無理関数について学びます。また、数列や関数の極限について学びます。</p> <p>(3) 微分法 三角関数や指数・対数関数など様々な関数の微分法を学び、それらのグラフや最大・最小について、学びます。</p> <p>(4) 積分法 様々な関数の積分法について学び、図形の面積や立体の体積を求める方法を学びます。</p>					
備考	・ 問題集約1,000円						

理科



理科の必修選択科目については、以下の条件(3分野の履修)が満たされない場合卒業が認定されなくなる。十分に注意すること。

1年次に、「化学基礎」を履修する。(全員)

2年次に、「物理基礎」または「生物基礎」のどちらか1つを選択履修する。

3年次に、「地学基礎」または「科学と人間生活」のどちらか1つを選択履修する。

履修年次	1年	科目名	化学基礎	単位数	2	科目の種類	必修
履修対象	1年生全員						
学習内容	目標	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則の理解を深める。					
		(1) 原子・分子の構造 (2) 化学反応					
備考	<p>高校で学ぶ理科4分野について、「化学」の考え方は他の3分野(物理、生物、地学)を学ぶ上での基礎となるものであり、もっとも‘理科らしい’分野でもある。</p> <p>1年次の本科目の基本をきちんと身につけておかないと、2年次、3年次の理科の学習に支障を来すことになる。しっかり、主体的に取り組むこと。</p>						

履修年次	2年	科目名	物理基礎	単位数	2	科目の種類	必履修選択
履修対象	<ul style="list-style-type: none"> ・電気、機械、エネルギー等に興味がある者 ・文理系列の理工系大学等進学希望者、土木系列の生徒、機械関連・電子関連などへの就職を希望している者 ・3年次に「物理(4単位)」を選択する者は必ず履修すること 						
学習内容	目標	物体の運動の基本的な概念や法則を理解し、運動とエネルギーについての基礎的な見方・考え方を学ぶ。					
		(1) 物体の運動(物理量の表し方、速度・加速度、落下運動) (2) エネルギー(力学的エネルギー、熱・温度) (3) 波(波の性質、音波) (4) 電気(抵抗、交流の利用など)					
備考							

履修年次	2年	科目名	化学	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の成り立ちや変化、及びさまざまな物質の性質について、より深く学びたい者 ・文理系列の理系大学、医療系、薬学系進学希望者 						
学習内容	目標	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則の理解を深める。					
		(1)物質の状態と平衡(状態変化・気体の性質・固体の構造、溶液) (2)物質の変化と平衡(化学反応、電気化学、反応速度) (3)無機物質(金属, 非金属) (4)有機化合物(炭化水素、芳香族、高分子化合物)					
備考							

履修年次	2年	科目名	生物基礎	単位数	2	科目の種類	必履修選択
履修対象	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の構造や生命の機能に興味がある者 ・生物系、農学系、医療系への就職希望者、及び文理系列で生物系、農学系、医療系への進学希望者 ・3年次に「生物(4単位)」を選択する者は必ず履修すること 						
学習内容	目標	生物の基礎的な概念、原理、法則を日常生活や社会との関連を図りながら理解し、科学的な態度と自然観を身につける。					
		生物の特徴 遺伝、遺伝子の働き 生物の体内環境の維持 生物の多様性 生態系、生態系の保全					
備考							

履修年次	3年	科目名	物理基礎(増2)	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	文理系列の生徒で、物理基礎(2単位)の理解を深め知識の定着を図ろうとする者のうち、3年次に物理(4単位)を履修しない者						
学習内容	目標	物理(4単位)の学習事項を取り入れながら、物理基礎(2単位)の学習内容を深め、科学的な態度と自然観をいっそう深める。					
		(1)物理基礎(2単位)の補足・発展事項及び復習			(2)問題演習		
備考							

履修年次	3年	科目名	物理	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	文理系列、土木系列の理工系大学進学希望者						
学習内容	目標	力と運動に関する概念や原理・法則を系統的に学ぶ。					
		(1)平面内の運動・剛体のつり合い(水平投射・斜方投射、モーメント)、 運動量と力積(衝突・分離・一体化)、円運動・単振動、万有引力、気体分子の運動 (2)波(音波、光) (3)電気と磁気(電界・コンデンサー・電気回路、電磁誘導) (4)原子・電子					
備考	2年次に「物理基礎」を履修済みであること						

履修年次	3年	科目名	物理(増2)	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	・文理系列の生徒で、物理(4単位)の理解を深め知識の定着を図ろうとする者 ・3年次に物理(4単位)を履修する者						
学習内容	目標	物理基礎の学習内容の復習を取り入れながら、物理(4単位)の学習内容を深め、科学的な態度と自然観をいっそう深める。					
		(1)物理(4単位)の補足・発展事項			(2)物理基礎の学習内容の復習		(3)問題演習
備考							

履修年次	3年	科目名	化学基礎(増2)	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	文理系列の生徒で、化学基礎(2単位)の理解を深め知識の定着を図ろうとする者のうち、2年次に化学(4単位)を履修していない者						
学習内容	目標	化学(4単位)の学習事項を取り入れながら、化学基礎(2単位)の学習内容を深め、科学的な態度と自然観をいっそう深める。					
		(1)化学基礎(2単位)の補足・発展事項及び復習			(2)問題演習		
備考							

履修年次	3年	科目名	化学(増2)	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	・文理系列の生徒で、化学(4単位)の理解を深め知識の定着を図ろうとする者						
学習内容	目標	化学基礎の学習内容の復習を取り入れながら、化学(4単位)の学習内容を深め、科学的な態度と自然観をいっそう深める。					
		(1)化学(4単位)の補足・発展事項 (2)化学基礎の学習内容の復習 (3)問題演習					
備考	2年次に化学(4単位)を履修済みであること。						

履修年次	3年	科目名	生物基礎(増2)	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	文理系列の生徒で、生物基礎(2単位)の理解を深め知識の定着を図ろうとする者のうち、3年次に生物(4単位)を履修しない者						
学習内容	目標	生物(4単位)の学習事項を取り入れながら、生物基礎(2単位)の学習内容を深め、科学的な態度と自然観をいっそう深める。					
		(1)生物基礎(2単位)の補足・発展事項及び復習 (2)問題演習					
備考							

履修年次	3年	科目名	生物	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	・生体の構造や生命の機能への関心が強く、生物をより深く学びたい者 ・生物系、医療系、農学系の4年制大学等への進学希望者						
学習内容	目標	生物の基本的な概念、原理、法則を目的意識をもって学習し、科学的な態度と自然観を深める。					
		生命現象と物質(細胞と分子、代謝、遺伝情報の発現) 生殖と発生(有性生殖、動物の発生、植物の発生) 生物の環境(動物の反応と行動、植物の環境応答) 生体と環境(個体群と生物群集、生態系) 生物の進化と系統(進化の仕組み、生物の系統)					
備考	2年次に「生物基礎」を履修済みであること。						

履修年次	3年	科目名	生物(増2)	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	・文理系列の生徒で、生物(4単位)の理解を深め知識の定着を図ろうとする者 ・3年次に生物(4単位)を履修する者						
学習内容	目標	生物基礎の学習内容の復習を取り入れながら、生物(4単位)の学習内容を深め、科学的な態度と自然観をいっそう深める。					
		(1)生物(4単位)の補足・発展事項 (2)生物基礎の学習内容の復習 (3)問題演習					
備考							

履修年次	3年	科目名	地学基礎	単位数	2	科目の種類	必履修選択
履修対象	天体としての地球の成り立ちや地球の環境に興味を持ち、自然災害に備える態度と知識を深めようとする者						
学習内容	目標	地学の基礎的な概念、原理、法則を日常生活や社会との関連を図りながら理解し、科学的な態度と自然観を身に着ける。					
		宇宙における地球(宇宙の構成、惑星としての地球) 地殻の活動、地球の変遷(地質構造、古生物と地球環境) 大気と海洋(熱収支、運動) 地球の環境(環境の科学、日本の自然環境)					
備考							

履修年次	3年	科目名	科学と人間生活	単位数	2	科目の種類	必履修選択
履修対象	科学に関する基礎的な素養と日常生活へ活用する態度を身につけようとする者						
学習内容	目標	身近な事象を通して自然や科学技術と人間生活の関わりについて理解し、科学的な考え方と態度を身に着ける。					
		科学技術の発展 人間生活の中の科学 光・熱(性質や利用)、物質(材料、衣料と食品)、 生命(生物と光、微生物の利用)、宇宙や地球(天体、自然景観と自然災害) 科学の今後					
備考							

保健体育

1年次	2年次	3年次
体育(2)	体育(3)	体育(2)
保健(1)	保健(1)	スポーツレクリエーション(2)

履修年次	1年	科目名	体育	単位数	2	科目の種類		必履修	
履修対象	全員								
学習内容	目標	各運動を通して、運動技能を高めるとともに、運動する習慣を身につけ、体を動かすことの楽しさや喜びを味わいながら健康な生活を送る基礎的な能力を養う。							
	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツテストを行い一人ひとりの運動能力を確かめる。 ・ 球技(バスケットボール、バレーボール)、柔道(男女共)を行う。 							
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 球技(バレーボール、バスケットボール、サッカー、卓球、バドミントン、トレーニング)から自分の興味のある種目を選択し、ルールを把握しながらゲームの実践を図る。 							
備考	柔道着が必要な人は、4,000円で購入する。(後に注文書を配布)								

履修年次	1年	科目名	保健	単位数	1	科目の種類		必履修	
履修対象	全員								
学習内容	目標	個人および社会生活において、健康な生活を送るために必要な知識や考え方を養う。							
	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会と健康 健康のとらえ方、生活習慣病、喫煙、飲酒、薬物乱用、医薬品、感染症、エイズなど							
	後期	健康に関わる意志決定・行動選択、欲求と適応機制、心身の相関とストレス、自己実現、交通事故の現状と要因、応急手当の意義とその基本、心肺蘇生法など							
備考									

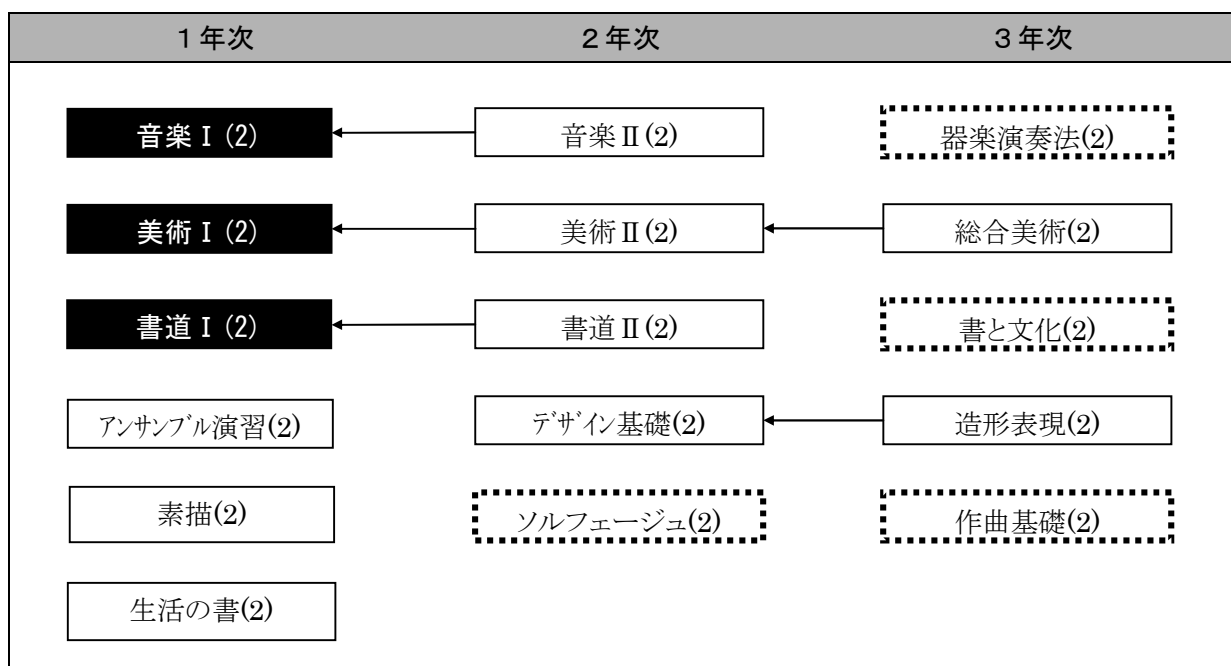
履修年次	2年	科目名	体育	単位数	3	科目の種類		必履修	
履修対象	全員								
学習内容	目標	各運動を通して、運動技能を高めるとともに、運動する習慣を身につけ、体を動かすことの楽しさや喜びを味わいながら健康な生活を送る基礎的な能力を養う。							
	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツテストを行い一人ひとりの運動能力を確かめる。 ・ 球技(バスケットボール、バレーボール、サッカー、卓球、バドミントン)から種目を選択し、チームや個人で作戦を立てながらゲームの実践を図る。 ・ 柔道(男女共)を行う。 							
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 球技(バスケットボール、バレーボール、サッカー、卓球、バドミントン)から種目を選択し、チームや個人で作戦を立てながらゲームの実践を図る。 							
備考									

履修年次	2年	科目名	保健	単位数	1	科目の種類	必履修
履修対象	全員						
学習内容	目標	個人および社会生活において、健康な生活を送るために必要な知識や考え方を養う。					
	前期	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を通じる健康 思春期と健康、性意識と性行動の選択、結婚生活と健康、妊娠・出産と健康、家族計画と人工妊娠中絶、保健制度や医療制度についてなど。 					
	後期	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活と健康 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などによる健康被害の防止と環境対策、労働災害・職業病と健康についてなど 					
備考							

履修年次	3年	科目名	体育	単位数	2	科目の種類	必履修
履修対象	全員						
学習内容	目標	各運動を通して、運動技能を高めるとともに、運動する習慣を身につけ、体を動かすことの楽しさや喜びを味わいながら健康な生活を送る基礎的な能力を養う。					
	前期	<ul style="list-style-type: none"> スポーツテストを行い一人ひとりの運動能力を確かめる。 球技(バスケットボール、バレーボール、サッカー、卓球、バドミントン)から種目を選択し、チームや個人で作戦を立てながらゲームの実践を図る。 					
	後期	<ul style="list-style-type: none"> 球技(バスケットボール、バレーボール、サッカー、卓球、バドミントン)から種目を選択し、チームや個人で作戦を立てながらゲームの実践を図る。 					
備考							

履修年次	3年	科目名	スポーツクリエイション	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	選択者						
学習内容	目標	生涯スポーツを見据え、運動の楽しさを味わいながら、自ら継続的に運動を実践する態度と能力を養う。また、体力を高めるための方法について理解を深める。					
		<ul style="list-style-type: none"> 社会の変化とスポーツ 運動技能の構造と練習のしかた 体ほぐしの意義と体力の高め方 <p style="text-align: right;">など</p>					
備考							

芸術



履修年次	1年	科目名	音楽 I	単位数	2	科目の種類	必履修選択
履修対象	<ul style="list-style-type: none"> 音楽に興味・関心があり、感性を高めたいと考えている生徒 音楽系および保育系進学を希望する生徒 						
学習内容	目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばします。					
	実技	斉唱・独唱・合唱…「校歌」「新志芽賛歌」(暗譜)、他、希望曲。 器楽…器楽演奏法、リズムアンサンブル等。 ソルフェージュ・音程やリズムおよび和音等の基礎的学習。					
	鑑賞	国内外のポピュラー音楽や民族音楽および西洋クラシック音楽。					
備考	教材費として 1,500 円を年度当初に、学年で一括して徴収します。						

履修年次	1年	科目名	アンサンブル演習	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	教養文化系列の生徒						
学習内容	目標	用意可能な楽器や声を用いた実技演習を通し、表現の基礎的諸能力を養う。					
	実技	①器楽(リコーダー、鍵盤楽器、打楽器、管楽器、ギター等を用いた演習) ②ボーカルアンサンブル 伴奏および無伴奏での合唱。					
備考	実技表現を深く探究する生徒(音楽系および保育系進学希望者等)の選択を原則とする。						

履修年次	1年	科目名	美術 I	単位数	2	科目の種類	必履修選択
履修対象	<ul style="list-style-type: none"> ・美術に興味・関心があり、感性を高めたいと考えている生徒 ・美術系進学を希望する生徒 						
学習内容	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の幅広い創造活動を通して美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。 ・表現領域に適した題材設定により、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。 					
	① 自分の思い、夢や想像などをテーマに、多様な表現方法を学びます。 ② デッサン、色彩、材料や用具の生かし方などの基礎を学びます。 ③ 芸術作品の美しさや、自分や他者の作品の良さなどを発見し、認め合い、感性を磨きます。 [主な題材の予定] <ul style="list-style-type: none"> ● デッサンの基本(身近な題材によるデッサン、鉛筆による明暗・グラデーション) ● 色彩の基礎(色の三属性、混色、表色系) ● アクリル絵具で描く(アクリル絵具の特徴や性質の理解、校内風景の描写) ● 文字によるデザイン(ロゴタイプの作成) ● 鑑賞(現代美術、映像表現等) 						
備考	スケッチブック、デザイン用色紙、描画材料等の代金として、1,500円を年度当初に、学年で一括して徴収します。また、アクリル画材代として2,000円を美術担当者が集金します。						

履修年次	1年	科目名	素描	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	教養文化系列の生徒						
学習内容	目標	対象のイメージや空間を把握し、造形表現の基礎となる観察力と描写力を高める。					
	① 「デッサン」では、自然や身近なものを対象に、深く観察し、主体的に対象のイメージや空間、形体などを把握し、形体や色彩、材質感などの表し方を工夫し、表現する能力を高めます。 ② 「スケッチ」では、対象の形体や空間、よさや美しさを端的に把握し、大まかに表すために工夫しながら表現する能力を高めます。 ③ 「表現材料」では、①②の表現効果を高めるために、用いる材料や用具についての特性を理解したり、様々に試用・工夫したりしながら、自分の表現技法を体得できるようにします。 ④ 「鑑賞」では、生徒作品や作家作品を取り上げ、それぞれの主題と表現意図、形体や色彩、材質感などの描き表し方の工夫や表現材料の活用、効果などについて考察し、作者の心情にまで触れることができるようにします。また、社会や生活との関わりについての理解も深めていきます。						
備考	スケッチブック、画用紙、木炭紙、描画材料等の代金として、2,000円を年度当初に徴収します。						

履修年次	1年	科目名	書道 I	単位数	2	科目の種類	必履修選択
履修対象	書道に興味、関心のある生徒						
学習内容	目標	書道 I の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばします。					
	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書(校歌や好きな歌を、様々な表現で制作します。) ・漢字の書【楷書の臨書】(中国の書の名品を手本に、美しい文字を書くことを目標に制作します。) ・漢字の書【一字書】(好きな漢字を臨書で学んだ技法を生かし、大きな紙に制作します。) 他					
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書【行書の臨書】(書聖王羲之の蘭亭序を手本に、行書的美しさについて学びます。) ・仮名の書(私達が日常使用している平仮名が何の漢字からできたかを学び、小筆を使い実際に平安時代に書かれた仮名を手本として制作します。) ・実用書(実際に使われているのし袋に「御祝」「御見舞」、自分の名前を書き実用的な書を学びます。) ・篆刻(自分の名前を石に刻します。その印を実際の作品に押します。) 他					
備考	筆代・半紙・画仙紙・墨汁・うちわ等の代金として、1,500円を年度当初に、学年で一括して集金します。また、短冊・石印材・色紙・色紙掛け等の代金として2,500円を書道担当者が集金します。						

履修年次	1年	科目名	生活の書	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	教養文化系列の生徒						
学習内容	目標	書写能力を中心とした力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばします。					
		<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆を中心とした、将来に生きるペン字の学習。 ・生活の中に生きる書、現代の建築物にマッチする作品の制作。 ・文字の成立、古代文字に関わる学習 					
備考	硬筆練習帳のテキスト代と筆記具、用具代として約2,000円を徴収いたします。						

履修年次	2年	科目名	音楽Ⅱ	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽Ⅰを履修した生徒で、更に表現や鑑賞等の活動を深く追究する意欲のある生徒 ・保育系、音楽系進学希望者は選択すること 						
学習内容	目標	音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばします。					
	実技	歌唱…希望による選択曲による。 器楽…鑑賞した曲の演奏(平易な曲の独奏、連弾)。自作曲の演奏やアンサンブル演習。 創作…様々なスタイルによる作曲。ソルフェージュに関する基礎的演習。					
	鑑賞	歴史的背景に基づく西洋音楽(作曲家の生涯とその作品)。文化的背景に基づくわが国の伝統音楽。世界の民族音楽。					
備考	合唱の楽譜、作曲の資料や五線紙、音楽史の資料やプリント等を配布しますので、B4判2穴式のファイルを用意してください。						

履修年次	2年	科目名	ソルフェージュ	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	音楽系、保育系進学希望者。音楽の演奏に強い興味関心、意欲のある生徒。						
学習内容	目標	リズム、旋律、和声などの音楽の諸要素を正確に聴取したり、楽譜から正確に読みとって表現したりできる能力(全ての表現領域に共通して求められる基本的能力)を養う。					
		(1) 聴音～ピアノやその他の楽器による聴音を行う。聴いた音楽を正しく記譜する。 (2) 視唱～ト音記号、ヘ音記号の読譜を習得し、それを正しく歌唱する。 (3) 視奏～ピアノや移調楽器、その他の楽器の読譜を習得し、正しく演奏する。					
	備考	<ul style="list-style-type: none"> ・3年次に「作曲基礎」を選択予定の生徒は、「ソルフェージュ」を履修することが望ましい。 ・音楽大学および音楽を受験科目とする(保育士等)者を中心とする。 					

履修年次	3年	科目名	作曲基礎	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽系および保育系進学希望者 ・作曲と演奏に強い興味関心、意欲のある生徒 						
学習内容	目標	音楽や作曲に関する基礎的な知識及び法則を習得し、さまざまなジャンルの音楽を創作しながら、その喜びを見いだす。					
		(1) 楽典、楽式、和声法の理解 楽譜の書き方、様々な音楽形式、コード進行などについて理解を深める。 (2) いろいろな様式や演奏形態による楽曲の創作 様々な時代、国や地域、ジャンルなどの多様な音楽に目を向け、自己の興味、関心に基づき、色々な様式や演奏形態の楽曲をアナリーゼ(分析)する。 (3) 個性的な表現を生かした創作 従来の作曲上の規則を考慮しながら、自己の感性を音楽に託し、創作する。					
	備考	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次に「ソルフェージュ」を履修していることが望ましい。 ・聴音、視唱、視奏を正しくできなければ、作曲活動は難しい。 					

履修年次	3年	科目名	器楽演奏法	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	保育系音楽系進学希望者(優先)と、器楽演奏(ピアノが中心)に強い興味関心があり、演奏に関する基本的知識と技術を習得したい生徒。音楽Ⅰ、Ⅱを履修していなくても可。						
学習内容	目標	器楽の演奏に関する知識や技術を反復練習し、基本的な表現能力を養う。					
	前期	譜面の読み方、運指の確認。教則本を使用した練習、音階の練習。各自の習熟度にあった楽曲の選択と練習。					
	後期	各自の習熟度にあった発表曲の決定と練習。保育系音楽系進学者は受験曲も練習。発表曲の作曲者と楽曲についてレポート作成。発表会の実施。					
備考	ピアノの台数に限りがあるため、選択希望者が多い場合は、保育系音楽系進学希望者から優先的に選択して貰うことになります。1クラス7名×2クラス=14名が限度です。						

履修年次	2年	科目名	美術Ⅱ	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	<ul style="list-style-type: none"> ・美術Ⅰを履修した生徒で、美術の創造的な諸活動を深く追究する意欲のある生徒 ・美術系大学、短大等進学を希望する生徒は選択すること 						
学習内容	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。 ・表現領域に適した題材設定により、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。 					
	① 心豊かな表現の構想、表現形式や材料・技法の活用により、独創的な表現を追究します。 ② 芸術作品の美しさや美術文化について理解を深めるとともに、自分のよさ、他者のよさを認め合い、感性を高めます。 [主な題材の予定]	<ul style="list-style-type: none"> ● デッサン、素描(静物、風景、人物等) ● ポスターで伝える(ポスターデザインの役割、構成、鑑賞) ● 絵画表現と技法(油彩による風景、抽象表現など) ● イラストの世界(コラージュ、漫画表現など) ● 現代美術鑑賞 					
備考	各種絵の具(水彩・アクリル・油彩等)、キャンバス、紙、その他描画材料代として、2,000円を年度当初に徴収します。						

履修年次	2年	科目名	デザイン基礎	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	・デザインに興味・関心があり、感性を高めたいと考えている生徒 ・美術系、服飾系、理美容系、インテリア系進学を希望する生徒						
学習内容	目標	・造形の基礎となる形体・色彩・材料などについて理解を深める。 ・デザインの領域や生活との関わりを理解し、計画と表現の能力を養う。					
	学習内容	① 形体の性質・機能、色彩の体系・機能、材料の特性などについて、理解を深めます。 ② デザインするものの条件や目的に応じ、効果的に表現する能力を身につけます。 ③ デザインと生活とのかかわり、デザインの領域等について学びます。 ④ 色彩については、 <u>A・F・T色彩検定3級</u> (文部科学省認定)程度の知識を身につけます。 *理美容、ファッション、インテリアの分野で役立ちます。 [主な題材の予定] <ul style="list-style-type: none"> ● 色彩学(色の表示、光と色、色彩心理、色彩調和など) ● デザインの領域(デザインとは何か、ファッション、インテリア、環境など) ● 色彩と構成(平面および立体構成、ポスター・イラストによる表現) 					
備考	色彩検定公式テキスト3級編、アクリルガッシュ、ケント紙等材料代として、4,000円を年度当初に徴収します。						

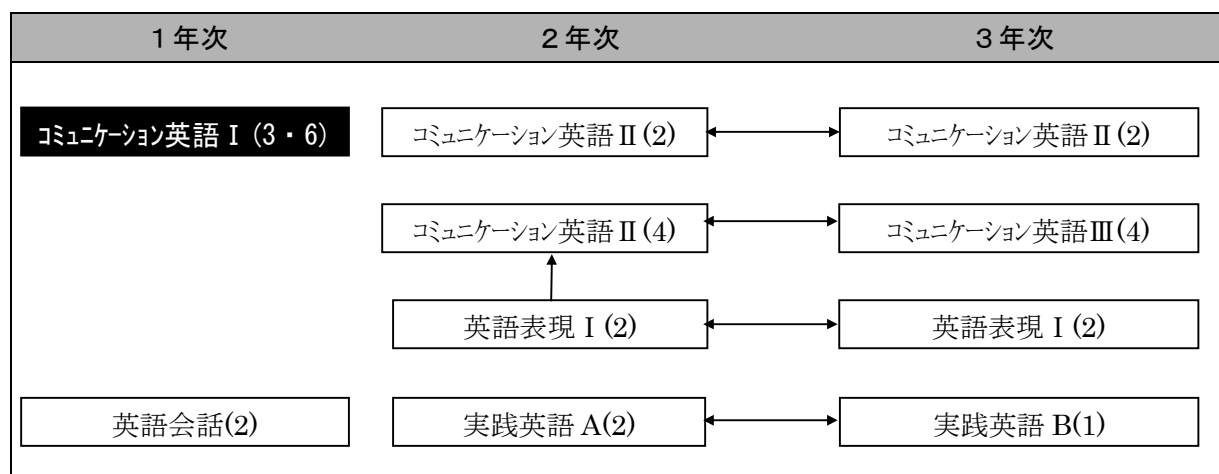
履修年次	3年	科目名	総合美術	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	・美術Ⅰ・美術Ⅱを履修した生徒で、「もの」や「こと」の創造的表現の追究に関心・意欲のある生徒 (この履修条件は総合選択の場合。自由選択では、美術Ⅰを履修していることが望ましい。) ・美術系大学、短大等進学を希望する生徒は選択すること						
学習内容	目標	・「もの」や「こと」の創造的表現を通して、主題設定や表現技法について多くを体験する。 ・生涯にわたり美術を愛好する心情を育て、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術表現能力を養う。					
	学習内容	① 独創的な主題の生成と表現技法の選択により、個性豊かな表現活動をめざします。 ② 鑑賞において、作品の歴史や作者の生き方・主張等、ならびに創造的(意味生成的)な鑑賞方法を理解することで、美術の能力を高めます。 [主な題材の予定] <ul style="list-style-type: none"> ● デッサン、素描(校内風景、石膏像、静物、人物等) ● 絵画表現と技法(油彩画、アクリル画、抽象表現、具象表現など) ● イラストの世界(空想画、コラージュ、絵本など) 					
備考	各種絵の具(水彩・アクリル・油彩等)、キャンバス、紙、その他描画材料代として、3,000円を年度当初に徴収します。						

履修年次	3年	科目名	造形表現	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	<p>・デザイン基礎を履修した生徒で、美術に関する創造的な諸活動について興味・関心が高い生徒(ただし、この履修条件は総合選択の場合のみ。)</p> <p>・美術系、保育系進学を希望する生徒はできるだけ選択すること</p>						
学習内容	目標	<p>・幅広い美術の領域と身の周りの生活との関わりについて考える。</p> <p>・自由な発想と想像力を高め、表現の喜びを味わう。</p>					
		<p>① 個性を生かし、心豊かな発想でのびのびと表現し、創造することの喜びを味わいます。</p> <p>② 生活の中に息づく美術文化に気づき、豊かな感性と生涯にわたり美術を愛好する心情を育てます。</p> <p>[主な題材の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デッサン、素描(静物、風景、人物等) ● ペーパークラフト(紙による造形の基礎、紙によるさまざまな表現など) ● 絵画表現と技法(油彩による風景、抽象表現など) ● イラストの世界(タイポグラフィ、コラージュ、漫画表現など) ● 鑑賞(印象派の作品、現代絵画・彫刻、映像表現など) 					
備考	<p>描画・クラフト等材料代として、1,500円を年度当初に徴収します。</p>						

履修年次	2年	科目名	書道Ⅱ	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	<p>「書道Ⅰ」を履修した生徒で、さらに書道の力を伸ばしたいと考えている生徒</p>						
学習内容	目標	<p>・書道の創造的な諸活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばします。</p>					
	前期	<p>・漢字かな交じりの書(自作文を作り、表現を工夫し創作します)</p> <p>・漢字の書【草書、隸書、篆書】(楷書、行書のみならず、幅広く書体を学びます)</p> <p>・漢字の書【一字書】(全紙等のサイズの用紙に大筆で体全体を使って揮毫します)</p>					
	後期	<p>・漢字の書【般若心経】(心を落ち着けゆったりとした気持ちで、写経を書きます。)</p> <p>・仮名の書(散らし書きを通じて、仮名の書の奥深さについて学びます)</p> <p>・篆刻・刻字(好きな故事成語を石や木に刻します)</p>					
備考	<p>半紙・画仙紙・墨汁・色紙・色紙掛け・刻字用木材の代金として、2,500円を年度当初に、書道担当者が集金します。</p>						

履修年次	3年	科目名	書と文化	単位数	2	科目の種類	自由選択
履修対象	書道に興味、関心のあり、意欲的に書を学ぶ気持ちがある生徒。書道Ⅰ、Ⅱを履修していることが望ましい。						
学習内容	目標	書の諸活動を通して、書法や字形の基本を身に付けるとともに、書写能力を高める。 また、実用的な書に触れ、日常生活に役立てようとする姿勢を養う。					
	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆(ペン字について学習し、履歴書にも活かせるよう練習します) ・和漢書道史(制作のみならず、書道史を通じて文字の成り立ちや歴史についても学びます) ・漢字の書 ・漢字仮名交じりの書 ・篆刻 ・仮名の書(書道Ⅰ、Ⅱを発展的に学習します) 					
	後期	・卒業作品制作(これまで学んだ書体、ジャンルの中から最も気に入ったものを選び、制作します)					
備考	半紙・画仙紙・墨汁・色紙・色紙掛け等の代金として、2,500円を年度当初に、書道担当者が集金します。						

外国語（英語）



履修年次	1年	科目名	コミュニケーション英語Ⅰ	単位数	6	科目の種類	必履修
履修対象	文理系列の生徒						
学習内容	目標	日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えを話したり書いたりして伝える基礎的な力を養うとともに、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。					
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・内容についての英問英答を口頭で行う。 ・必要事項だけを探す読み方や、速く正確な読み方など、数種類の読み方を学ぶ。 ・概要を英語でまとめたり、筆者のメッセージに対して感じたことを英語で書く。 ・入試に対応できるように基本的な語彙・文法の学習を行う。 ・単語テスト、リスニングテスト、発音テストなどを定期的に行う。 					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・遅くとも1年の終わり(1月)までに英語検定3級取得を目標とする。 ・すでに3級を取得しているものは、積極的に準2級取得を目指すこと。 						

履修年次	1年	科目名	コミュニケーション英語Ⅰ	単位数	3	科目の種類	必履修
履修対象	農業科学系列・土木系列・ビジネス会計系列・教養文化系列の生徒						
学習内容	目標	日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えを話したり書いたりして伝える基礎的な力を養うとともに、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。					
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・リスニング活動を通して、大まかな内容を理解する。 ・基本的な文法事項を理解し、英文の内容を把握する。 ・音読したり、発音・会話表現を学ぶ。 ・学習した内容を発展させ、自分の考えや意見を表現する。 					
備考	英検3級取得を目標とする。						

履修年次	1年	科目名	英語会話	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	教養文化系列の生徒						
学習内容	目標	身近な話題について、英語を聞いたり話したりして情報や考えを理解し、伝える基礎的な力を養うとともに、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。					
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を聞いてその内容を理解するとともに、場面や目的に応じて適切に反応する。 ・関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりする。 ・情報や考えなどを、場面や目的に応じて適切に伝える。 ・聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを理解する。 					
備考							

履修年次	2年	科目名	実践英語 A	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	教養文化系列の生徒						
学習内容	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就職試験に必要な英語の基本的知識を身につける。 ・社会人として必要な英語の教養を身につける。 					
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で手紙を書いたり、読んだりする。 ・英字新聞を読む。 ・英語の歌を楽しむ。 ・インターネットを活用する。 ・就職試験対策を行う。 					
備考	3年次の「実践英語 B」と継続して履修すること。						

履修年次	2年	科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	農業科学系列・土木系列・ビジネス会計系列・教養文化系列の生徒						
学習内容	目標	幅広い話題を理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力を伸ばすとともに、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。					
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・リスニング活動に慣れ、大体の内容を理解する。 ・コミュニケーション英語Ⅰで学習した文法を発展的に学び、英文の内容を理解する。 ・自分の意見や考えを、英語で話したり書いたりする。 ・英語の歌や映画に触れ、英語学習の楽しさを味わう。 					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・英検3級、準2級取得を目標とする。 ・3年次でも継続して履修することになる。 						

履修年次	2年	科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	文理系列の生徒						
学習内容	目 標	幅広い話題を理解し、情報や考えなどを読み取り、それについて英語で話したり書いたりして伝える能力を伸ばすとともに、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。					
	内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・内容についての英問英答を口頭で行う。 ・必要事項を探して読んだり、速く正確に読む力をつける。 ・入試に必要な文法事項を理解する。 ・単語テストまたはリスニングテストを毎時間行う。 					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・遅くとも2年の終わり(1月)までに英語検定準2級取得を目標とする。 ・すでに準2級を取得しているものは積極的に2級取得を目指すこと。 						

履修年次	2・3年	科目名	英語表現Ⅰ	単位数	2・2	科目の種類	総合選択
履修対象	文理系列の生徒						
学習内容	目 標	情報や考えを、場面や目的に応じて英語で書いたり話したりする力を伸ばすとともに、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。					
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項を段階的に学び、書いたり話したりする基礎を培う。 ・与えられた日本語を英語で表現する。 ・学習内容を用いて自己表現活動を行う。 					
	3年	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた日本語を英語で表現する。 ・学習内容を用いて自己表現活動を行う。 ・入試に対応できるように演習を行う。 					
備考							

履修年次	3年	科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2	科目の種類	総合選択
履修対象	農業科学系列・土木系列・ビジネス会計系列・教養文化系列の生徒						
学習内容	目 標	幅広い話題を理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力を伸ばすとともに、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。					
	内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・リスニング活動に慣れ、大体の内容を理解する。 ・学習した文法を発展的に学び、英文の内容を理解する。 ・自分の意見や考えを、英語で話したり書いたりする。 ・英語の歌や映画に触れ、英語学習の楽しさを味わう。 					
備考	卒業までに英検3級もしくは準2級取得を目標とする。						

履修年次	3年	科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	4	科目の種類	総合選択
履修対象	文理系列の生徒						
学習内容	目標	英語を読んで、情報や書き手の考えや気持ちを理解する能力を伸ばすとともに、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。					
		<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある文章を読んで、必要な情報を得たり、概要や要点をまとめたりする。 ・まとまりのある文章を読んで、書き手の意向などを理解して、それについて自分の考えなどをまとめたり、伝えたりする。 ・入試に対応できる読解力をつける。 ・単語テストを毎回行う。 					
備考	英検2級取得を目標とする。						

履修年次	3年	科目名	実践英語 B	単位数	1	科目の種類	総合選択
履修対象	教養文化系列の生徒						
学習内容	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就職試験に必要な英語の基本的知識を身につける。 ・社会人として必要な英語の教養を身につける。 					
		<ul style="list-style-type: none"> ・英語で手紙を書いたり、読んだりする。 ・英字新聞を読む。 ・英語の歌を楽しむ。 ・インターネットを活用する。 ・就職試験対策を行う。 					
備考	2年次の「実践英語 A」と継続して履修すること。						